

ヨハネの福音書 第6章 12節

「イエスはまた彼らに語って言われた。『わたしは世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。』」

私に光があるのか。あるとすれば、光となる道具やエネルギーを手にするときである。それなしには光を照射することは出来ない。私に光源は無い。ところが、「わたしは世の光です」、と世界に向けて宣言される。イエスご自身が光です、と言われる。

このお方なしに創造されたものは無く、創造されたものすべてがこの方によるとある。世界の始まりで、光も他の被造物と同様に創造されている。イエスの手により光は創造され、存在しているのである。しかし、「わたしは世の光です」、と語られた光は創造されたものではないことは確かだ。「わたしは」と言われている。

万物を創造されたお方、ご自身がひかりである。このお方のキャラクターであり、ちからであり、叡智であり、遍在であり、無限の豊かさを包含するひかりである。ひかりが射しこまないところは無く、届かないところは無く、消滅することはなく、永遠のひかりである。たとえ闇が深く、そして広がっていても、そこにひかりはあり、闇が消える。イエスが言われた「わたしは世の光です。」